

## 甲斐市議会建設経済常任委員会会議録

1. 開催日時 平成25年4月22日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

---

### 出席委員（6名）

委員長	清水正二君	副委員長	藤田悟君
	八代静枝君		坂本一之君
	山本英俊君		小浦宗光君

### 欠席委員（1名）

藤田正夫君

### 傍聴議員（8名）

議長	河野勝彦君	斉藤芳夫君
	有泉庸一郎君	米山昇君
	内藤久歳君	山本今朝雄君
	三浦進吾君	名取國士君

---

### 説明のため出席した者の職氏名

建設産業部長	米山徳彦君	上下水道部長	市川孝嗣君
建設課長	奥野経雄君	都市計画課長	武川訓君
農林振興課長	奥石春樹君	商工観光課長	花輪正純君
下水道課長	飯沼覚君	上水道課長	花田茂美君
敷島支所 地域課長	内田隆君	双葉支所 地域課長	奥石倫雄君
建設総務係長	新海順一君	建設管理係長	飯沼源治君
建設土木係長	小林信生君	建築開発指導 係長	名取晶子君
まちづくり 推進係長	坂本一彦君	整備係長	末木永喜君

緑化推進係長	名 取 藤 吾 君	農林総務係長	小 林 一 三 君
農林振興係長	下 笹 俊 彦 君	農林土木係長	寺 島 信 君
農業委員会事務局庶務係長	大久保 幹 夫 君	商工労働係長	三 井 美 樹 君
観光交流係長	本 田 泰 司 君	下水道総務係	山 田 洋 君
建設管理係長	長 田 茂 君	上水道総務係	二 宮 仁 君
施設管理係長	水 川 良 一 君	工 務 係 長	三 井 浩 君
環境土木係長	篠 原 千 里 君	環境土木係長	根 津 秀 樹 君

---

**職務のために出席した者の職氏名**

議会事務局長	中 村 宗 和	書 記	小 澤 明
書 記	石 原 大 助	書 記	松 井 恵 美

開会 午前 9時29分

○書記（小澤 明君） 改めまして、おはようございます。

ご参集大変お疲れさまでございます。

委員会に先立ちまして、今回4月の人事異動に伴い、議会事務局職員の異動がありましたので、中村局長より職員の紹介をさせていただきます。

中村局長、お願いします。

○議会事務局長（中村宗和君） おはようございます。

このたびの4月1日付の職員人事異動により、議会事務局職員が異動となりましたので、ここでご紹介をさせていただきたいと思います。

まず、議会事務局長でありました金丸局長につきましては、教育部長に異動となりましたが、いまして、私、中村が議会事務局長になりましたので、皆様方よろしくお願ひしたいと思ひます。

議会と執行部が車の両輪となって、スムーズに進み、住民福祉の向上につながるよう微力ながら努めてまいりたいと思ひますので、議員の皆様方のご支援、ご協力をいただければと思ひます。よろしくお願ひいたします。

また、これまで4年間お世話になりました輿石君が建設課に異動となりました。新たに秘書政策課から石原大助君が庶務議事係に配属となりましたので、ご紹介をいたします。

○書記（石原大助君） 秘書政策課から異動になりました石原大助です。どうぞよろしくお願ひいたします。

○議会事務局長（中村宗和君） 石原君につきましては、輿石君にかわり、厚生環境常任委員会及び議会広報常任委員会を担当してもらうこととなりますので、あわせてよろしくお願ひいたします。

また、そのほかの職員につきましては、昨年同様庶務議事係に小澤係長と松井さん、それから監査委員会事務局を併任しております羽中田係長と天野君でございます。また、臨時職員の小澤さんにつきましては建設課へ異動となり、議会事務局の職員1名少なくなりました。議員の皆様方にご不便をかけることがあろうかと思ひますけれども、6名体制で1年間頑張つてまいりたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

以上でございます。

○書記（小澤 明君） ここで、石原君につきましては退席をさせていただきますので、よろしくをお願いします。

それでは、ただいまより建設経済常任委員会を始めさせていただきます。

初めに、清水委員長よりご挨拶をいただき、引き続き委員長により議事を進行させていただきます。

それでは、清水委員長、よろしくをお願いします。

○委員長（清水正二君） 改めまして、おはようございます。

閉会中の審査、ご苦勞さまでございます。

きのう、おとといと気候が打って変わって、きょうはこんなに穏やかですけれども、非常に寒暖計の温度差も、暖かいときと寒いときと10度以上違うというふうな中でございます。体調の管理には非常に難しいかと思っておりますけれども、健康に、体に、風邪など引かないようにご注意をされていただきたいと思います。

また、国会のほうでは、きょうは参議院の予算委員会というふうなことでございます。こちらのほうの建設経済も、閉会中の審査ではございますが、議案等、案件等多くあります。また現地視察もありますので、委員各位のご協力いただき、スムーズな進行ができますようお願いいたしまして、私の挨拶といたします。よろしくをお願いいたします。

ただいまの出席委員は6名です。定足数に達しておりますので、これより建設経済常任委員会を開会いたします。

なお、藤原委員から欠席の連絡がありましたので、報告いたします。

---

○委員長（清水正二君） 本日の委員会は、各担当より平成25年度当初予算の主要事業の説明等を受けたいと思います。また、職員人事異動の異動後の初めての委員会ですので、職員の自己紹介をお願いしたいと思います。

初めに、上下水道部、市川部長より順次自己紹介をお願いいたします。

市川上下水道部長。

○上下水道部長（市川孝嗣君） おはようございます。

このたびの人事異動によりまして、教育部から上下水道部のほうに異動になりました、部長の市川と申します。1年間しっかりやりたいと思いますので、よろしくをお願いしたいと思います。

います。

○委員長（清水正二君） 飯沼課長。

○下水道課長（飯沼 覚君） この4月の人事異動によりまして、上水道から今度は下水道のほうを担当させていただくことになりました飯沼です。よろしくお願いいたします。

○下水道総務係長（山田 洋君） 下水道総務係の山田と申します。よろしくお願いいたします。

○建設管理係長（長田 茂君） 建設管理係の長田でございます。昨年に引き続きですけれども、よろしくお願いいたします。

○委員長（清水正二君） 花田上水道課長。

○上水道課長（花田茂美君） おはようございます。

このたびの人事異動によりまして、市民部収納課からこちら上水道課長を仰せつかりました花田と申します。ふなれではありますが、議員各位にもご協力いただく中で頑張ってもらいたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○上水道総務係長（二宮 仁君） 同じく上水道課上水道総務係の二宮仁です。よろしくお願いいたします。

○施設管理係（水川良一君） 同じく上水道課施設管理係、水川良一です。よろしくお願いいたします。

○工務係長（三井 浩君） 同じく上水道課工務係の三井浩です。よろしくお願いいたします。

○委員長（清水正二君） 続いて、上下水道部の平成25年度当初予算の主要事業について市川部長より説明を受けたいと思います。

市川部長。

○上下水道部長（市川孝嗣君） それでは、続きまして、上下水道部の今年度の主要事業についてご説明いたします。

平成25年度の予算審議資料の17ページをお開き願いたいと思います。

17ページにつきまして、下段のほうになります。下水道課が3本、上水道課が1本ということになっておりますけれども、全てここにありますのは特別会計への繰出金ということで、具体的な事業が掲載してございません。したがって、本日、また別の紙で配付をさせていただきました1枚の紙があるかと思っておりますので、そちらに基づきましてご説明をしたいと思います。よろしいでしょうか。

それでは最初に、甲斐市の公共下水道事業の概要ということで、1ページをごらんになっ

ていただきたいと思いをします。

最初に、1番目の事業開始の時期につきましては、当初事業認可が昭和61年で全体計画面積は1,776.3ヘクタールであります。

なお、一部につきましては、平成5年4月1日から供用開始を行い、ことしで20年目を迎えるところでございます。

次の平成24年度末までの整備状況であります。整備済み面積が1,139.1ヘクタールで、昨年の平成24年度には17.57ヘクタールの面的整備を行ったところでございます。全体の面整備率につきましては64.1%、整備済みの管渠延長は現在まで26万845メートルで、昨年度は5,305メートルの整備を行いました。

次の3点目の地区別の整備済み面積であります。竜王地区は全体の面積が910.7ヘクタールに対して表を1つ飛びまして、整備済み面積は588.3ヘクタールで、整備率は64.5%であります。

以下、敷島地区の面整備率は68.7%、双葉が59.3%で、市全体では計画面積1,776.3ヘクタールに対して整備済み面積が1,139.1ヘクタールで、面積整備率は64.1%であります。

次の4番の平成25年度の主要事業の概要でございます。

まず、実施設計の委託、1路線につきましては、都市計画街路田富町敷島線の敷島地区大下条地内の中央道北側とオギノ手前までの175メートルについて、下水道工事のための実施設計の委託費でございます。

次の管渠の布設工事15路線につきましては、総額2億8,990万円を予定しております。そのうち竜王地区が7路線で1,910メートル、敷島地区が4路線で875メートル、双葉地区が4路線で781メートルであります。

次の上水道の移設補償につきましては、下水道管を布設する際支障となる水道管の移設補償料としまして、総延長3,566メートルで7,330万円を予定しております。

次の管路耐震化工事につきましては、地震による液状化のマンホール浮上対策としまして、マンホール内部を重くする重量化工事13カ所分に2,500万円、次の県道舗装復旧工事につきましては、竜王地区、篠原地区の甲斐中央線、敷島地区の島上条地内の甲府韮崎線の2路線で727万円、また、市道の舗装復旧工事につきましては、敷島地区の島上条地内の開発2号線の1路線で1,610万円を予定しております。

公共の汚水ます設置工事につきましては、農地転用などによる新築する際、申請する汚水升を全体で50カ所1,500万円を予定をしております。

以上が下水道の主要事業でございます。

次に、水道事業の会計の説明をしたいと思ひます。

裏の2ページ目をお願いしたいと思ひます。

まず、最初の配水管の整備事業であります、(1)の配水管の新設工事につきましては、県道甲府韮崎線関係で、双葉龍地地内の架空工事に伴う新規の布設で、120メートルを予定しております。

次の(2)の配水管布設がえ工事、下水道関連工事でございますけれども、下水道管の移設補償費による布設がえ工事、総延長1,319メートルを予定しております。

次の(3)の配水管布設がえ工事につきましては、単独の事業でございます。

まず、①の国道20号線の関係につきましては、竜王バイパスの小作からダイトースターレーン前までの布設がえ工事、約1,000メートルを予定しております。

次の②の甲府韮崎線関係につきましては、双葉竜地地内の布設がえ工事、185メートルを予定しております。

③につきましては、滝坂希望ヶ丘線関係の配水管の布設がえ工事、110メートルを予定しております。

4につきましては、田畑駒沢線関係で、双葉の宇津谷金剛地地区になりますが、重要管路として耐震化工事300メートルを予定しております。

⑤の基幹管路耐震化工事及び設計業務委託5カ所につきましては、竜王地区内の基幹管路の耐震化工事を行うもので、総延長は1,850メートルを予定しております。

次の2の施設整備事業であります。

(1)の整備改良事業の中の①の竜王配水池補修工事につきましては、各配水池の補修工事を年次的に実施をしているもので、22年度につきましては片瀬、23年度は篠原、昨年の24年度が万才、今年度につきましては竜王の配水池で、内容につきましては外壁の塗装、屋根の防水工事等を行うものでございます。

②の竜王新町減圧弁更新工事から⑧までの笠石配水池取水送水ポンプ更新工事につきましては、いずれも各施設の老朽化に伴う減圧弁及びポンプ等の更新工事であります。

次の⑨につきましては、双葉宇津谷地内にあります三島配水池にあります緊急遮断弁を、また、次の⑩の龍地ため池には放流弁をそれぞれ新たに設置するものでございます。

⑩の笠石配水池水源テレメーター化工事につきましては、水源と配水池間の埋設ケーブルが劣化してきているため、今回テレメーター装置を新たに設置し、専用回線にするための改

良工事であります。

⑫の二ツ溜配水池の発電機工事につきましては、現在まで発電機が設置されていませんので、発電機を新たに設置することにより、停電時においても対応が可能となるよう、そんなふうな工事をしてまいりたいと考えております。

次の⑬の消火栓設置工事4基につきましては、消防対策室からの要望により、新たに消火栓を設置する工事でございます。

最後の量水器ほかにつきましては、量水メーターの取りかえ工事等の内容でございます。

以上、施設整備事業に係る予定額につきましては2億6,009万3,000円で、上段の配水管整備工事費と合わせますと、合計で6億6,700万2,000円であります。

なお、これ以外の地域し尿処理施設事業、農業集落排水事業、また簡易水道事業につきましては、おおむねが施設の維持管理費が主な事業内容となっております。

以上でございます。

○委員長（清水正二君） ありがとうございます。

次に、上下水道部からその他の報告等がありましたらお願いいたします。

ありませんか。

[発言する者なし]

○委員長（清水正二君） なければ、その他を終了します。

ここで、暫時休憩とし、職員の入替えを行います。

休憩 午前 9時44分

再開 午前 9時46分

○委員長（清水正二君） 会議を開催します。

ここから建設産業部となります。

それでは、建設産業部、米山部長より、順次自己紹介をお願いいたします。

米山建設産業部長。

○建設産業部長（米山徳彦君） ご苦労さまでございます。

この4月1日に建設産業部長に拝命しました米山です。どうぞよろしくお願いいたします。微力ではございますけれども、本職の使命感を自覚しまして、懸命に努力していく所存で

ございます。ご指導よろしくお願ひいたします。

部の組織につきましては、建設課、都市計画課、農林振興課、商工観光課の4課13係、職員は52名、臨時職員は8名、合計60名の体制で事務事業に取り組んでいきます。よろしくお願ひします。

それでは、各課の職員の紹介につきまして、自己紹介でお願ひしたいと思ひます。よろしくお願ひします。

○委員長（清水正二君） 花輪課長。

○商工観光課長（花輪正純君） おはようございます。商工観光課の花輪でございます。昨年に引き続きよろしくお願ひいたします。

○委員長（清水正二君） 三井係長。

○商工労働係長（三井美樹君） おはようございます。商工労働係の係長の三井です。よろしくお願ひいたします。

○委員長（清水正二君） 本田係長。

○観光交流係長（本田泰司君） 観光交流係長の本田と申します。よろしくお願ひいたします。

○敷島支所地域課長（内田 隆君） 敷島支所の地域課長の内田です。昨年に引き続き2年目になります。よろしくお願ひいたします。

○委員長（清水正二君） 順次お願ひいたします。

○環境土木係長（篠原千里君） 敷島支所地域課環境土木係、篠原です。よろしくお願ひします。

○双葉支所地域課長（輿石倫雄君） 双葉支所地域課長の輿石です。2年目になりますけれども、よろしくお願ひします。

○環境土木係長（根津秀樹君） 双葉支所地域課環境土木係、根津です。よろしくお願ひします。

○委員長（清水正二君） 続いて、建設産業部の平成25年度当初予算の主要事業について米山部長より説明を受けたいと思ひます。

米山部長。

○建設産業部長（米山徳彦君） それでは、建設産業部の各課の主要事業の概要につきましてご説明させていただきます。

資料につきましては、本年度当初予算額についての説明ですので、予算審議資料の5ページ、ご参照願ひします。

まず、建設課、それから都市計画課に係ります土木費の予算額としましては、審議資料の下の円グラフ、目的別を見ていただきたいと思いますが、土木費26億5,475万6,000円とありますが、このうち下水道特別会計への繰出金10億7,316万4,000円を差し引きますと、15億8,159万2,000円となります。

次に、農林振興課につきましては、農林水産業費3億3,875万5,000円を計上しております。また、商工観光課につきましては、商工費及び労働費としまして1億4,014万8,000円を計上しております。建設産業部の全体の予算額としましては20億6,749万5,000円で、一般会計予算の8.8%を占めております。

それでは、主要事業につきましてご説明いたします。

まず、初めに、建設課であります、予算審議資料9ページをお願いします。

都市機能の充実したまちづくりとしての表の3番目になりますけれども、道路の維持管理事業、4つ下がります、道路維持改良事業、その下の道路舗装事業、道路新設改良事業の道路整備につきましては、自治会からの要望などを取り入れながら、引き続き整備、維持管理を行ってまいります。

次に、上から4番目の竜王駅維持管理事業であります、南北のエスカレーター近くにあります案内板の地図が古くなったということから修繕を予定しております。

次に、土木総務事業であります、住生活総合調査につきましては、地域の実情に合わせた住宅施策の基礎データを得るために5年に1回行うものでありまして、統計調査を行ってまいります。また、個人の木造住宅の耐震改修などに対しまして、引き続き補助を実施するとともに、新たに木造耐震リフォーム事業費ということで、限度額20万円の補助を実施してまいります。

次に、橋梁長寿命化修繕計画の策定事業としましては、昨年度に甲斐市内の161橋梁の長寿命化修繕基本計画を策定いたしました。今年度はその修繕実施計画を策定してまいります。

次に、18ページに飛びます、すみません。18ページを開いてください。

ここは、安全で快適に暮らせるまちづくりとしての内容です。

河川維持、河川改修事業につきましても、やはりこれは自治会からの要望などを取り入れながら引き続き整備、維持管理を行ってまいります。特に響が丘の調整池しゅんせつ工事や万才河原の本線水路改修工事などを執行してまいります。

次に、市営住宅管理事業として、市営住宅の維持管理を行ってまいります。また、市営住宅整備事業の（仮称）市営冷間団地再開発計画事業でありますけれども、第1期の造成工事

や道路工事、導水路工事ですね。それから住宅建築工事などを施工しまして、あわせて第2期の住宅建築工事の実施設計書を策定してまいります。

以上が建設課の主要事業の概要であります。

次に、都市計画課でございますが、ページを戻っていただきまして、9ページです。

これもやはり都市機能の充実したまちづくりであります。都市計画諸費としまして、継続事業として実施しています景観計画策定業務を引き続き実施してまいります。また、今年度は交付及び葦崎都市計画用途地域見直し業務も進めてまいります。

次に、現在整備を行っております塩崎駅周辺整備事業ですが、今年度塩崎駅アンダーガード第1期事業と関連施設の工事発注を予定しております。

次に、まちづくり推進事業につきましては、都市再生整備計画事後評価業務及び社会資本整備総合交付金の新規地区作成業務を推進してまいります。

次に、幹線道路整備事業の開発1号線、それから滝坂希望ヶ丘線、これにつきましては、改良工事の本年度完成を目指して引き続き行ってまいります。

次に、17ページ、18ページをすみません、お願いいたします。17ページの一番下になると思います。

都市公園、これも安全で快適に暮らせるまちづくりの関係でございます。都市公園、市立公園維持管理事業であります。都市公園は16カ所ありまして、市立公園が4カ所、開発内の公園は98カ所あります。その維持管理を行ってまいります。

次の18ページです。

緑化推進事業につきましては、ガーデンシティ・甲斐の実現のために各種事業を開催し、花と緑のあふれるまちづくりの推進を引き続き行ってまいります。

以上、都市計画課の主要事業の概要であります。

次に、農林振興課の主要事業であります。16ページになります。ちょっと戻っていただきます。

これは活気にあふれるまちづくりの竜王赤坂地区活性化事業につきましては、耕作放棄地の解消と収益性の高い農業による魅力のある農業展開を目指しまして、モデル事業として、今年度はトマト、サツマイモに加えましてアスパラガスなどの農産物の栽培を行ってまいります。

次に、地産地消事業であります。農家や農業団体などと連携しまして、農産物の地産地消の特産品の産地づくりなどを支援しまして、地域の活性化を図ってまいります。

次に、中山間地域等直接支払事業につきましては、中山間地域で農業生産条件が不利な地域に交付金支払事業を実施いたしまして、耕作放棄地等の解消に取り組んでまいります。

次に、土地改良事業でございますけれども、農道及び水路の基盤整備を図りまして、農業従事者の確保と生産性の向上を図ってまいります。また、県営土地改良事業として整備を進めています県営広域営農団地道路整備事業、また、敷島地区で行っております県営中山間地域総合整備事業などに対しまして負担金を支出しまして、早期完成を目指しております。

次に、中北部活性化事業であります、梅の里クラインガルテンを中心に敷島地区中北部の活性化を図ってまいります。

次に、松くい虫の防除対策事業としましては、松くい虫による松枯れの被害の拡大を防ぐため、被害木を伐採し、薬剤処理をしていきます。

以上が農林振興課の主要事業の概要であります。

引き続きまして、商工観光課の主要事業であります、審議資料の16ページです。

初めに、峡中広域シルバー人材センター補助事業につきましては、シルバー人材センターに対する助成を引き続き行ってまいります。

商工振興事業としまして、商工業の振興を図ることを目的に地元商工会に1,510万円の支援を初め、小規模企業者経営改善資金緊急対策利子補給制度という制度のもとで、利用促進、また、企業立地支援条例の基準によりまして、その基準に適合して立地した企業に対しまして、奨励金を交付して企業誘致を進めてまいりたいと思っております。

次に、観光推進事業といたしましては、市内の観光地への巡回観光バスの運行につきまして、引き続き旬の味覚の時期に合わせて実施をしてまいりたいと考えておりまして、それとともに味覚探訪ツアーの実施やフットパスコースを活用し、集客に努めてまいります。

また、信玄堤公園整備等の関係ですけれども、駐車場の整備を考えておりまして、歴史的施設である信玄堤への集客を図るため、新たにバス等の大型車両の駐車場の整備を行ってまいります。

次に、観光イベント事業といたしまして、おみゆきさんですが、先日盛大に開催できました。今後は、わくわくフェスティバル、それから大弐学問祭などを開催してまいりたいと思っております。

これで商工観光課の主要事業の概要の説明を終わります。

以上が建設産業部の主要事業の概要であります。よろしく願いいたします。

○委員長（清水正二君） ありがとうございました。

次に、商工観光課及び各支所地域課からその他報告がありましたらお願いします。

ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） なければ、その他を終了いたします。

ここで、暫時休憩とし、職員の入替えを行います。

休憩 午前 9時59分

再開 午前10時01分

○委員長（清水正二君） それでは、会議を再開いたします。

続いて、建設課から順次自己紹介をお願いいたします。

奥野建設課長。

○建設課長（奥野経雄君） 建設課長の奥野でございます。よろしくお願い申し上げます。

○建設総務係長（新海順一君） 建設総務係の係長をやっています新海と申します。よろしくお願い申し上げます。

○建設管理係長（飯沼源治君） 建設課管理係の飯沼です。よろしくお願い申し上げます。

○建設土木係長（小林信生君） 建設課建設土木係、小林です。ことしもよろしくお願い申し上げます。

○建築開発指導係長（名取晶子君） 建築開発指導係の名取です。よろしくお願い申し上げます。

○都市計画課長（武川 訓君） 昨年度より引き続き都市計画を担当いたします武川です。よろしくお願い申し上げます。

○まちづくり推進係長（坂本一彦君） まちづくり推進係の坂本です。4月から異動になりました。よろしくお願い申し上げます。

○整備係長（末木永喜君） 都市計画課整備係の末木です。よろしくお願い申し上げます。

○緑化推進係（名取藤吾君） 都市計画課緑化推進係の名取です。よろしくお願い申し上げます。

○委員長（清水正二君） 続いて農林振興課。

興石課長。

○農林振興課長（興石春樹君） 大変ご苦労さまです。4月の人事異動で新任の課長として農林振興課長を拝命いたしました興石です。よろしくお願い申し上げます。

○農林総務係長（小林一三君） 人事異動によりまして、農林総務係長に就任いたしました小林と申します。よろしくお願ひいたします。

○農林振興係長（下笹俊彦君） 農林振興係長の下笹と申します。よろしくお願ひいたします。

○農林土木係長（寺島 信君） 農林土木係の寺島でございます。よろしくお願ひいたします。

○農業委員会事務局庶務係長（大久保幹夫君） 農業委員会庶務係の大久保と言ひます。よろしくお願ひいたします。

○委員長（清水正二君） ありがとうございます。

ここで、暫時休憩とし、説明職員以外の職員が退室いたします。

休憩 午前10時05分

再開 午前10時05分

○委員長（清水正二君） 会議を再開いたします。

これより次第4、内容に入ります。

初めに、1、委員派遣について、お手元の派遣計画（案）をごらん願ひます。

ここでお諮りいたします。本日は現地視察を予定しております。視察日程は、委員派遣計画（案）により委員を派遣することにご異議はございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） ご異議なしと認めます。

よって、計画のとおり派遣することに決定をいたしました。

なお、派遣承認申請は委員長において作成し、議長に提出したいと思ひますが、これにご異議はございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） ご異議なしと認め、そのようにいたします。

それでは、現地視察について順次担当より説明を受けた後、現地へ移動したいと思ひます。

初めに、1、県道島上条宮久保絵美堂線の復旧状況について建設課より説明をお願ひいたします。

奥野建設課長。

○建設課長（奥野経雄君） ご苦労さまです。現状の説明をさせていただきます。

県の災害復旧工事ということで、昨年10月から施工をしております。現状でございますが、先般県のほうに確認をいたしましたところ、水路等のヒューム管の布設が終わりまして、道路の復旧の作業に移っているようです。状況でございますが、4月の下旬にいわゆる現道、もとの道の通行が可能になるということで伺っております。

なお、工期であります来月の28日までには全体の完成ということで、順次作業しておりますので、よろしくということでございます。

そういうことで、現在施工中でございますけれども、現場を見ていただいて、布設状況等を確認いただければと思います。よろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

○委員長（清水正二君） 次に、2、茅ヶ岳東部広域農道の整備事業について農林振興課より説明をお願いいたします。

奥石農林振興課長。

○農林振興課長（奥石春樹君） それでは、資料の1ページをお願いいたします。

茅ヶ岳東部広域農道の整備状況について報告をさせていただきます。

まず1でございます。事業主体は山梨県で行っております。

2といたしまして、事業計画年度といたしまして、平成14年から平成26年度を予定しております。

起点としましては、韮崎市内の茅ヶ岳広域農道、現在市道下今井駒沢線と名称がかわっております。終点でございますが、甲斐市県道甲府昇仙峡線でございます。

供用開始区間としまして、平成24年1月17日に延長1,211メートル、茅ヶ岳広域農道から県道島上条宮久保絵美堂線までが現在開通をしております。

次に、平成25年4月26日の供用開始の予定でございます。延長が3,111メートル、県道島上条宮久保絵美堂線から、この場所がですね、菖蒲沢地区になります。そこから農道千鳥山線交差点ということで、これはサントリーの登美の丘ワイナリーから下ってきたところの交差点になります。

次に、平成26年3月予定ということで、延長が2,200メートル、農道千鳥山交差点から現道、敷島竜王線亀沢大橋の西詰まででございます。

続きまして、平成27年3月予定ということで、延長2,467メートル、亀沢大橋西詰から県道甲府昇仙峡線が終点となります。

平均幅員が約7メートル、制限速度は40キロだそうです。総事業費といたしまして、約90億円、平成24年度末で約85億円で94%の執行でございます。平成24年度の事業費といたしまして6億7,300万円、市負担が5,700万円でございます。

4番の総延長でございます、8,989メートル、平成24年度末で改良済みが8,199メートルの91%の執行でございます。平成24年度の事業としましては、改良工事が400メートル、舗装工事が2,270メートル、亀沢大橋の路面工事ということで300メートルでございます。

5番目といたしまして、亀沢大橋の工事でございますが、延長が300メートル、幅が10.25メートル、最高地点が35メートルでございます。事業費としては約17億円を予定しております。平成21年度に橋梁の下部の工事ということで、基礎と橋脚をいたしました。平成22年から23年にかけて、橋梁の仮設工事ということで、基礎や橋脚の上の橋の本体をかけたというような工事でございます。平成24年度道路工事ということで、安全施設、転落防止柵とか街路灯の設置をしております。平成25年度に道路工事ということで、舗装工事を計画しております。

2枚目をお願いいたします。

これが茅ヶ岳広域農道の甲斐市の全体の道路の平面図になりますが、左のほうの黄色い部分が平成24年1月17日に供用開始をしました1,211メートルでございます。今回、25年4月26日の供用開始予定の部分が3,111メートルということで、この赤い部分になります。

なお、緑色と青い部分については26年度と27年度の供用開始の予定でございます。

以上で説明を終わらせていただきます。

○委員長（清水正二君） 次に、塩崎駅施設整備工事の着手について都市計画課より説明をお願いいたします。

武川都市計画課長。

○都市計画課長（武川 訓君） ご苦労さまです。

本日お配りをいたしました図面等を参考をお願いしたいと思います。

塩崎駅周辺整備工事の着手についてご説明をさせていただきます。

塩崎駅施設整備、駅舎、ホームの拡幅、またホームの上屋につきましては、駅施設に関する施行協定を昨年締結したところであります。この協定に基づきまして、JRにおいて電気設備、信号ケーブル等の移設工事を進めておりましたが、今後ホームの拡幅、ホームの上屋の工事が始まる予定でありまして、この工事に伴いまして、南北駅前を図面のよう作業ヤードの仮囲いを設置したところであります。この設置に伴いまして、駅利用者、周辺の方々

等、事前に説明、また回覧等を行い周知したところであります。いずれにいたしましても、工事期間中は安全対策に十分注意を払い、工事を進めていく予定でございますので、よろしくお願いをいたします。

また、次の図面につきましては、南北駅前広場の計画平面図でありまして、この図面につきましては以前、委員会の中でパワーポイント等で説明をさせていただいたものであります。これから現地視察の中で、施設の位置等の参考にしていただきたいと思いますので、よろしくお願いをいたします。

以上でございます。

○委員長（清水正二君） 説明が終わりました。

質疑は現地視察の後、委員会室へ戻ってから行いたいと思います。

ここで、暫時休憩をいたします。

それでは、現地へ向かいますので。

休憩 午前10時13分

再開 午前11時40分

○委員長（清水正二君） それでは、会議を再開いたします。

現地視察、ご苦労さまでした。

それでは、初めに、1の県道島上条宮久保絵美堂線の復旧状況について、質疑等がありましたらお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） ございませんか。

なければ、委員の質疑を終了いたします。

続いて傍聴議員の質疑を受けたいと思います。

名取議員。

○議員（名取國士君） ちょっとお聞きしたいんですけども、先ほど見に行ったところで、下のほうに蛇腹で水路があったじゃないですか、つくった。あの上方はあのままおりるようになっているんですか。あれで柵か何かやるんですか、おりられないように。今行ったら柵も何もなかったんですけども、あの下へあのままおりられるようになっているんですか。

○委員長（清水正二君） 小林係長。

○建設土木係長（小林信生君） 県のほうの設計書のほうの内容ですが、伺っておりますが、柵は特段つける予定はないということですが、あそこの県道側についてはずっとガードレールが脇道のところまで行きますので、基本的には下においていくということは想定されていないようです。

○委員長（清水正二君） 名取議員。

○議員（名取國土君） 柵はつかないということなんだけれども、あのままの状態でおける状態になっていけば、子供さんが落ちたら危ないよね、あれ。結構深いよ、60センチぐらいあるよ、あのU字溝は。その辺をちょっと心配したんだけど。

○委員長（清水正二君） 小林係長。

○建設土木係長（小林信生君） その辺ですね、ちょっと今現在は柵をすとかしないかというのにはちょっと確認がとれておりません。また県のほうへ行って状況を確認して、必要であれば設置のほうを要望、また県のほうができないということであれば、うちの建設課のほうで考えたいと思っております。

○委員長（清水正二君） 斉藤議員。

○議員（斉藤芳夫君） 今のところと同じなんだけれども、上のほうまでU字溝が来ていて、途中からああいう鉄製のもので、あれで仕上がりということですか。

○委員長（清水正二君） 小林係長。

○建設土木係長（小林信生君） 上のほうといいますか、下流側のほうということですね。コルゲートフィルムというんですか、あのトタンみたいなやつ。あれが一応仕上がりという形になっています。県のほうとも相談してあるんですが、いいであれば三方のコンクリートの水路という形を話をしたんですが、コスト的なものと、あとですね、加重がかかるような場所じゃないという形の中で、県のほうでそれでいきたいということですので、管理も県になりますので、水路自体はですね。いう形で、あれが完成形という形になります。

○委員長（清水正二君） ほかにございますか。

[発言する者なし]

○委員長（清水正二君） 質疑がなければ、傍聴議員の質疑を終了いたします。

以上で、県道島上条宮久保絵美堂線の復旧状況については終了いたします。

次に、2、茅ヶ岳東部広域農道の整備状況について、質疑等ありましたらお願いいたします。

委員の質疑ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君）　ございませんか。

なければ、委員の質疑を終了いたします。

続いて、傍聴議員の質疑を受けたいと思います。

内藤議員。

○議員（内藤久歳君）　茅ヶ岳広域農道の4月26日に供用開始になる部分がありますけれども、これの周知というか、こういうものはどんな形で、広報か何か載っているのかどうか。その辺はどうなんですか。

○委員長（清水正二君）　下笹係長。

○農林振興係長（下笹俊彦君）　周知につきましては、地元の自治会、菖蒲沢、新田、大袋、あともう一つ、どこでしたか、その4自治会のほうの区長さんを対象に説明会を開きまして、あと、地区への回覧板等により周知してございます。広報等の周知はしてございません。

○委員長（清水正二君）　内藤議員。

○議員（内藤久歳君）　できれば、やはり甲斐市にかかわる道路なので、広く周知するべきだとは思いますが、今後そういった形でできるのであれば、回覧については全市の自治会に配るということですか。

○委員長（清水正二君）　下笹係長。

○農林振興係長（下笹俊彦君）　関係自治会ということで、双葉地区のその4自治会だけに回覧を回しました。

○委員長（清水正二君）　興石課長。

○双葉支所地域課長（興石倫雄君）　あと、先月行われました双葉地区の区長会で説明のほうをさせていただきましたので、双葉地区の全区長さんには、こういう形で供用開始をさせていただきますという報告はさせていただいております。

以上です。

○委員長（清水正二君）　ほかに質疑はございますか。

三浦議員。

○議員（三浦進吾君）　県のメガソーラーの施設で、山林のところ以外のところで松林が伐採されておるんですけども、これは市のほうに届け出があつて、そしてどういう目的でやっているか、わかるかどうかちょっとお尋ねしたいと思います。

○委員長（清水正二君） 下笹係長。

○農林振興係長（下笹俊彦君） 県のメガソーラーを建設しています北側のところの、きょう見ていただいた大規模な伐採をしている箇所だと思いますが、そちらにつきましては、市のほうに伐採届という手続がしてございます。それから、つい先週ですが、県の林務事務所と立ち会いの中で現地を確認しました。そこで県とも協議したわけですが、今の段階では法的手続は全て終了しているということで、今後については、一部何かうわさが、メガソーラーをすとかというような話があるようではございますけれども、そちらについては手続上というか、林務の関係については手続はないというふうなことで、いざあそこが例えばメガソーラーとかそういったものになる場合であれば、今度は1ヘクタール以上ということで林地開発という手続になりますので、県の手続になります。

○委員長（清水正二君） 三浦議員。

○議員（三浦進吾君） 県のメガソーラーができるという中で、やっぱり雨水の、例えばゲリラ豪雨、あるいは台風という中で心配していることがあるわけですね。それは、県のほうとしては調整池をつくっていただいたという経過もございまして、それで、その隣接であれだけの伐採をされると、大変鉄砲水じゃないけれども、出るわけですよ。そして今の農道に流れ込むということが想定されていますけれども、その下流には坊沢川とか東川がございまして、この大変1級河川も心配になりますけれども、その辺の思慮は何かしていただかないと大変危険だと思いますけれども、これから大雨のシーズンに入るわけですから、特に心配するですけれども、何か検討なされているかどうかお聞きしたいと思います。

○委員長（清水正二君） 下笹係長。

○農林振興係長（下笹俊彦君） 先ほど、先週ですか、県の林務関係と一緒に現地のほう立ち会いをしましたが、法的手続では、今、山を切って、その山の跡は自然萌芽といいまして、自然に山が生えるのを待つという手続上の書類ですので、今、メガソーラーという話が裏のほうで動いているのかどうかちょっとわからないですけれども、今の手続上の中では、法の規制はないというふうなことで、県とも確認をとったところでございます。

○委員長（清水正二君） ほかに質疑はございますか。

名取議員。

○議員（名取國士君） 先ほど見たところで、交差点でもって信号が何とかと前に言っていたんですけども、それはいいんですけども、道路の真ん中にほら、夜ちゃかちゃか光るじゃないですか、埋め込んだら。ああいうのはないですね、あそこはね、設置が。見たら。どこに

ある、それは。農道、さっきの。

○委員長（清水正二君） 下笹課長。

○農林振興係長（下笹俊彦君） 供用開始の前に県のほうに、先ほど走っていただいて西側からカーブを曲がって交差点へ入ってくるということで、減速帯、がたがたの減速帯とか、その前に、今から設置になりますが、交差点の注意喚起の看板等とあわせて、交差点の中に、その交差点で光って交差点だよという、そういうマーキングもお話の中では要望を出しましたけれども、県と公安の協議の中で、それは必要ないというふうなことで、まだ正式な結果はこちらに上がってきておりませんが、そういう内容で設置は見送られたというふうなことを県のほうから聞いております。

○委員長（清水正二君） 名取議員。

○議員（名取國土君） あそこへ、先ほど説明だと、通学路になっているから、何か歩道をつけてくれという要望があると言いましたよね、あの交差点の、どっちへつけるか知らないけれども。そういうものをつけるのであれば、やっぱりそういうのは必要じゃないかと思うんですよ。やっぱりちょっと暗くなっているときなんか。ぜひその辺も検討してやってもらいたいなと思うんです。要望です。

○委員長（清水正二君） 要望でよろしいですか。

○議員（名取國土君） はい。

○委員長（清水正二君） ほかに質疑はございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） なければ、傍聴議員の質疑を終了いたします。

以上で、茅ヶ岳東部広域農道の整備状況についてを終了いたします。

次に、3、塩崎駅施設整備工事の着手について、質疑等がありましたらお願いいたします。

委員の質疑はございますか。ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） なければ、委員の質疑を終了いたします。

続いて、傍聴議員の質疑を受けたいと思います。

ございませんか。

三浦議員。

○議員（三浦進吾君） きょう現場を見させていただいた中で、今工事が入っておるという中で、大変ここを通学路、あるいは朝夕、大変ラッシュといたしますか、そういう場所ござい

ます。その点で、特に子供たちの通学安全にどのような形で対策をとっているかお聞きしたいと思います。

○委員長（清水正二君） 武川課長。

○都市計画課長（武川 訓君） 先ほど現地のほうを見ていただきましたが、通学路の関係は、南側と北がありますが、それぞれ今、作業ヤードのところにそれぞれ指導員というか、安全員さんがついてますんで、その方々が朝と夕方の子供の通学の関係は見ていただけという話になっております。

○委員長（清水正二君） ほかに質疑はございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） なければ、傍聴議員の質疑を終了いたします。

以上で、塩崎駅施設整備工事の着手についてを終了いたします。

次に、建設産業部からその他報告等がありますので、順次説明を受けたいと思います。

初めに、建設課より報告等がありますので、説明を受けたいと思います。

奥野課長。

○建設課長（奥野経雄君） ご苦労さまです。

先ほどお手元に資料を配付させていただいております。前回委員会等でご質問をいただいた内容の報告ということで、ご確認をいただければと思います。プリント1枚物でございます。

橋梁長寿命化計画に係る内容確認ということで、途中経過の状況報告でございます。

昨年度から取り組んでおります、本年度予算をいただきまして、実施計画をいよいよ立てる予定でございます。概略を説明させていただきますと、概算事業費でございますが、1番でございます。そこにありますとおりさまざまなタイプの橋梁がございます。つけかえが必要なもの、補修修繕で間に合うもの等々いろいろございますけれども、一応想定の中では、そこにごございますように33億円ほど経費を要するものでございます。ただ、すぐ取りかかるものではございませんので、全体の計画を立てた後ということ、想定金額でございませけれども、確認をいただければと思います。

あと、橋梁の規模別の一覧表でございます。そこに3メートル未満から100メートル以上ということで、全体で161カ所ございまして、順次確認をしながら実施計画を作成していきたいと考えております。

なお、100メートル以上の3カ所でございますが、きょうは現場視察、訪れていただきま

したけれども、いずれも周辺の広域農道にかかっている橋梁でございます。

あと、前回は話が出ておりますけれども、小規模の橋梁に关しますボックスカルバートの使用でございます。これも橋の長さ二、三メートル程度ということで、ボックスカルバート、いわゆる既製品を現場に設置ということでご意見等をいただいておりますけれども、これも3メートル未満は38カ所ございまして、全部確認はまだしておりませんが、現場の状況がそれぞれ異なります。ボックスカルバートをそのまま置いて大体の工事が完了するような簡単な場所から、そっくりやり直しというふうな場所も考えております。そういう中で施工内容がそれぞれ異なりますので、現場の状況に合わせて選択して、効果的で安い経費で済むようにということで取り組んでいきたいと考えております。

あと、そこに参考にボックスカルバートを設置した場合の経費でございますけれども、端の長さ3メートル、幅員が5メートル程度、深さといいますが、これは高さになりますけれども、2メートル程度のボックスカルバートの既製品でございますが、この条件のもとに設置をいたしますと、これも想定の中ですが、いろんな条件がある中ではございますが、230万円、あるいはこれ以上の金額がかかるのではないかと考えております。ということで、現場の状況で選択をしていくということで予定をしております。

あと、今後の予定でございますけれども、今年度それぞれ実施計画を策定いたしまして、26年度以降ということで、（予定）とございますけれども、緊急度等を検討し順次施工とございますけれども、予算が伴うものでございますので、あくまでも予定ということで、計画ということで立てておりますので、ご承知をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひ申し上げます。

もう1点でございますけれども、開発に伴う、これは資料はございません。口頭の報告になりますけれども、開発に伴います市道の認定の件でございます。

他の自治体等へも確認をした中で、市道の路線認定ということで開発の中にございます、いわゆる枝線的に道路を設定した場合に、起点・終点の取り扱いをどうするかということで、ご意見をいただいております、甲斐市のみならず周辺の市等に確認をいたしました、どんな方法でやっているかなということで問い合わせをしまして確認をしたところ、ほとんどの自治体というか、市でございますけれども、韮崎、南アルプス、笛吹、北斗等確認をいたしましたところ、甲斐市同様に起点・終点、将来にわたって明確にしておく必要があるということで、宅地造成のための路線ということで、起点・終点全部、路線の2本目が出ましても、1本明確にしておくために、2本表示みたいになりますけれども、開発地内に支線というか

そういうのが出ましても、改めて起点・終点という処理をして、2本ありますよというふうな取り扱いでやっているということで確認をされております。

甲斐市におきましても、そんな形で明確にしておく必要もありますので、一応同様の形で起点・終点ということで、現行どおり認定を、現場の状況にもよりますけれども、やっていきたいなと考えております。

また、現場の状況等を考えていくわけでございますけれども、今後またいろいろ検討もしていきたいということで考えておりますので、周辺の状況も考慮してやっていきたいと思っております。

今の2点でございます。ありがとうございました。

○委員長（清水正二君） 説明が終わりました。

委員より質疑等がありましたらお願いいたします。

ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） なければ、委員の質疑を終了いたします。

すみません、12時になりますが、引き続きこのまま会議を続けてまいりたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） それでは続けます。

続いて、傍聴議員の質疑を受けたいと思います。

ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） なければ、傍聴議員の質疑を終了いたします。

次に、都市計画課より報告等がありますので、説明を受けたいと思います。

武川都市計画課長。

○都市計画課長（武川 訓君） それでは、都市計画課より2点報告をさせていただきます。

まず1点目ですが、開発1号線道路整備事業につきまして報告をさせていただきます。

開発1号線に係ります1件の未買収用地につきまして、議員の皆様にもご心配をおかけしましたが、所有者のご理解を得まして、協力していただける運びとなったところであります。また、所有者より、来月末には仮の事務所へ移転を予定し、その後取り壊し等を行いたいため、契約を早期にしてほしい旨の要望があったところでございます。

本年度予算におきましては、収用法による法的手続に関する予算をお願いしてきたところではありますが、用地取得費と補償費等の経費を予算を計上していないため、今回開発1号線の工事等の進捗を図るため、本来でしたら6月補正で用地補償に係る経費をお願いし手続を行うべきではありますが、先ほど説明させていただきましたように、来月から移転等の作業に入るため、契約等を行って、早期に契約していただきたいという要望があったため、25年度の現予算の中に補償、補填が約3,600万計上されておりますので、その範囲内で対応させていただき、6月補正により調整をさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いをいたします。

また、2点目ですが、現在景観計画の策定を行っておりますが、来月の20日、月曜日になりますが、山梨県の景観アドバイザー制度を活用しまして、県と共同で町並みの色やデザインの考え方、使い方についての研修会を計画しております。また文書等を発送させていただきますので、研修会等の参加によりよろしくお願いをしたいと思います。

以上です。

○委員長（清水正二君） 説明が終わりました。

委員より質疑等がありましたらお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） ございませんか。

なければ、委員の質疑を終了いたします。

続いて傍聴議員の質疑を受けたいと思います。

ございませんか。

〔発言する者なし〕

○委員長（清水正二君） なければ、傍聴議員の質疑を終了いたします。

以上で、都市計画課その他を終了いたします。

ここで、資料を配付するため暫時休憩をいたします。

休憩 午後 零時03分

再開 午後 零時03分

○委員長（清水正二君） 会議を再開いたします。

農林振興課より報告がありますが、その前に米山建設部長より説明を受けたいと思います。  
米山部長。

○建設産業部長（米山徳彦君） 今お配りした資料の中をちょっと概要説明をさせていただきます。

甲斐市の農業振興事業補助金の未交付処理について報告をさせていただきます。

これは農林振興課の、一般的には稲作の減反における転作の奨励補助金でありまして、それが平成22年度分及び平成23年度分の生産調整対策市単独の補助金を担当者の事務の遅延によりまして、未交付が4月の人事異動前に判明しました。これからその資料に基づきまして、興石農林振興課長から具体的に説明をさせますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（清水正二君） 興石農林振興課長。

○農林振興課長（興石春樹君） それでは、今お配りをいたしました甲斐市農業振興事業補助金の未交付処理について報告をさせていただきます。

まず、本事業の概要でございます。根拠といたしましては、甲斐市農業振興事業補助金交付要綱、平成17年度に告示をしたものでございます。そのうちの生産調整対策市単独補助事業でございます。田んぼ等でお米をつくるかわりに生産調整実施農業者の一般作物、これは麦とか大豆でございます。これにつきましては平米9円、特例作物、野菜については平米5円を転作している面積に応じて補助金を交付するものでございます。

通常の補助対象者でございますが、約730人、平成25年度の当初予算では240万4,000円の予算計上をしている状況でございます。

本事業の執行手続の流れということで、まず3月から4月にかけて、農業共済組合から水稻生産実施計画書という書類が農家のほうに配布がされます。各農家では、転作の内容をその書類に記入をいたしまして、甲斐市のほうに提出をいただくと。

②番目としまして、市では7月中に転作の現地確認を行います。それに基づきまして、農業共済組合のほうへ確認内容を報告いたします。農業共済組合からは、その確認内容を反映したデータがまた市のほうに送られてきます。市はそのデータをもとに、補助金のほうの決定を行うことになっております。

③番としまして、補助金の交付方法ですが、農協がですね、中巨摩東部農協と梨北農協が窓口になりまして、市から報告を受けた現地確認結果の内容に基づき、補助金交付申請書を農協から提出をいただきまして、市が各農協のほうへ補助金を交付いたします。農協は、その組合員から補助金の申請の委任を受けていますので、そういうことができるということに

なります。これは通常総代会で議決をいただいております。

4番としまして、農協が各農家の口座へ補助金を振り込むわけですけれども、今回の問題につきましては、農協で振り込み処理を行った際に、対象者の口座が農協にあるものにつきましては振り込み処理ができますが、農協に口座が開設されていないものや対象者の死亡によりまして口座が閉鎖されたものについては、農林振興課の職員が直接農家を訪問し交付することになっていました。今回は、この交付事務の遅延から、未交付金が発生したものでございます。

未交付金の状況としまして、平成22年度分、対象者21人で金額が3万6,360円、平成23年度分が対象者26人、金額で5万7,815円、対象者合計としまして47人、金額が9万4,175円でございます。実質の対象者となりますのが39人となります。

今後の未交付金の対応ということで、きょう委員の皆様へ報告された後、農林振興課の職員が対象農家を訪問し、補助金の交付を行います。

本当にこのたびは、私の力不足から、職員の指導、監督ができず、このような不祥事を起こし、市民を初め議員の皆様にご迷惑をおかけしまして、また、甲斐市の信頼を失墜するようなことになり、大変申しわけございませんでした。

以上で報告とさせていただきます。

○委員長（清水正二君） 説明が終わりました。

委員より質疑等がありましたらお願いいたします。

藤田副委員長。

○委員（藤田 悟君） 事前にこれわかっていたはずですよ。この交付事務の遅延ということなんですが、なぜ遅延したんですかね。わかっていながらなぜこうなったのか説明をお願いします。

○委員長（清水正二君） 興石課長。

○農林振興課長（興石春樹君） 担当者に確認をしたところ、他の業務を優先して、配らなければならなかったものを後回しにしてしまったというようなことで、そういう間に忘れてしまったというようなことでございます。

○委員長（清水正二君） 藤田副委員長。

○委員（藤田 悟君） じゃ、忘れてしまったということですね。今後はそれがないようにお願いします。

○委員長（清水正二君） ほかに質疑はございますか。

よろしいですか。

[発言する者なし]

○委員長（清水正二君） なければ、委員の質疑を終了いたします。

続いて傍聴議員の質疑を受けたいと思います。

三浦議員。

○議員（三浦進吾君） こんな状態で例えば交付金が還付されないと、補助金が対象にならなかったということで何年かたったわけでしょう。これは、例えばですね、耕作者のほうから話があってわかったのか、職員から話が出て、そしてこの問題を出したのか、その辺をちょっとお聞きしたいと思います。

○委員長（清水正二君） 興石課長。

○農林振興課長（興石春樹君） 農家の方からは連絡はいただいておりません。本人の申し出で発覚いたしました。

○委員長（清水正二君） 三浦議員。

○議員（三浦進吾君） 本人はあれですか、この担当になって何年目ですか。

○委員長（清水正二君） 興石課長。

○農林振興課長（興石春樹君） 平成23年と24年の2年です。

○委員長（清水正二君） ほかに質疑はございますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（清水正二君） なければ、傍聴議員の質疑を終了いたします。

なお、今回所管の本委員会に担当より、この件について報告がありましたが、他の委員会にはこの後ファクスにより報告をしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

以上で、農林振興課その他を終了いたします。

これで、建設産業部のその他を終了いたします。

次に、5のその他に入ります。

委員から、その他何かありましたらお願いいたします。

ございませんか。

[発言する者なし]

○委員長（清水正二君） なければ、次に事務局より何かありましたらお願いします。

小澤係長。

○書記（小澤 明君） お手元のほうに委員会での検討事項に関する申出書をお配りさせてい

ただいでありますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

まず、議会改革特別委員会からの申し出につきまして、先週の17日、議会改革特別委員会が開催されまして、2月に行いました議会と市民の対話集会の報告書が記録係から提出されましたので、それをもとに回答が保留になっていたもの、また議会で検討を行う旨回答したものの対応についてご協議をいただいたところでございます。

協議の結果、回答が保留になっているものにつきましては、特別委員会の委員が担当し、回答を作成することになり、検討する旨回答したものにつきましては、各担当の委員会に振り分け、議会改革特別委員長名で各委員会で検討するよう申し出を行うことになりました。それを受けまして、今回皆様のお手元のほうに、建設経済常任委員会への申し入れ事項についてお配りをしております。

内容につきましては、丸の調査検討事項になります。本委員会につきましては1つの項目になっております。田富敷島線の県と地元との協議についてということの1点のみとなっております。

内容につきましては、後でまた別冊のほう、報告書のほうにつきましてはお配りさせていただきたいと思ひますが、田富敷島線の県と地元との協議は昨年8月以降ないが、情報と状況はという市民からのその日に意見がございました。回答につきましては、今後建設経済常任委員会で取り組んでいくという回答をしたところでございます。

なお、この件につきましては、日を改めまして、次回の建設経済常任委員会におきましてご協議いただきたいと思いますと思ひます。そのときに別冊の報告書につきましては、その際に配付させていただきたいと思ひますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上で事務局からの報告を終わらせていただきます。

**○委員長（清水正二君）** 以上をもちまして、本日の日程は全て終了いたしました。

これもちまして、建設経済常任委員会を閉会いたします。

ご苦勞さまでした。

閉会 午後 零時15分